


2015年3月期 2Q 決算説明資料



ヤマシンフィルタ株式会社
〈証券コード6240〉
2014年11月20日

1.2015年3月期 第2四半期業績 P.2

2.下期取組と通期業績予想 P.9

1.2015年3月期 第2四半期業績

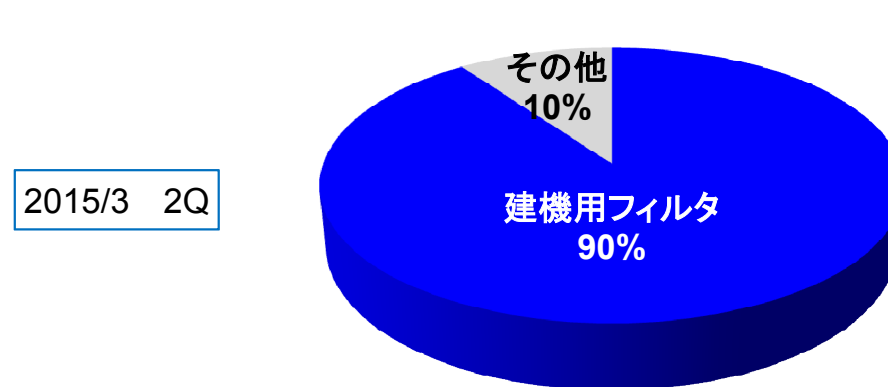
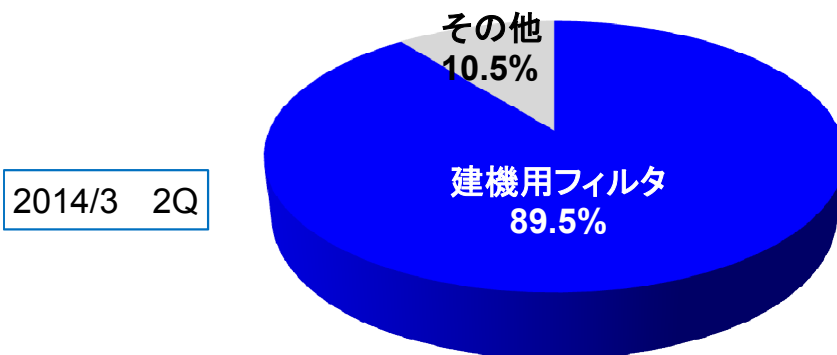
国内、米国は好調だが、中国市場の低迷より14.3期に比べて若干減収・減益

(単位:百万円)	2014/3期 第2四半期累計	2015/3期 第2四半期累計	増減	
			金額	%
売上高	5,493	5,473	△ 19	△0.4%
売上総利益	2,405	2,369	△ 35	△1.5%
売上総利益率	43.8%	43.3%	△0.5P	—
販売管理費	1,788	1,805	+17	+1.0%
販管比率	32.6%	33.0%	0.4P	—
営業利益	616	563	△ 52	△8.6%
営業利益率	11.2%	10.3%	△0.9P	—
経常利益	599	563	△ 36	△6.1%
経常利益率	10.9%	10.3%	△0.6P	—
半期純利益	416	373	△ 42	△10.2%
純利益率	7.6%	6.8%	△0.8P	—

* (14.3期実績は比較の為、未監査2Q実績であります)

中国市場低迷よりライン品売上減少するも、補給品売上でカバー

(単位:百万円)	2014/3期 第2四半期		2015/3期 第2四半期		前年同期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
建機用フィルタ	4,913	89.5%	4,928	90.0%	+14	+0.3%
ライン品	2,320	42.2%	2,218	40.5%	△ 101	△4.4%
補給品	2,593	47.2%	2,709	49.5%	+116	+4.5%
その他	578	10.5%	545	10.0%	△ 33	△5.7%
売上高合計	5,493	100.0%	5,473	100.0%	△ 19	△0.4%

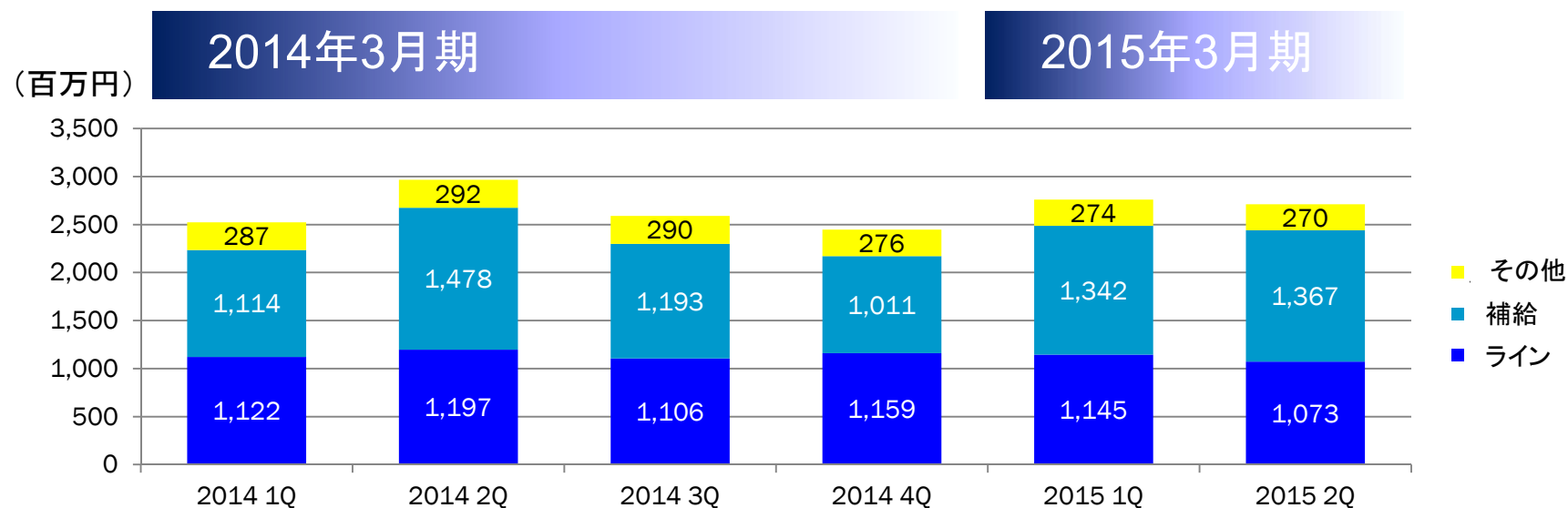


* (14.3期実績は比較の為、未監査2Q実績であります)

補給部品売上は15.3期 第1Q、第2Qを通じて安定的に推移

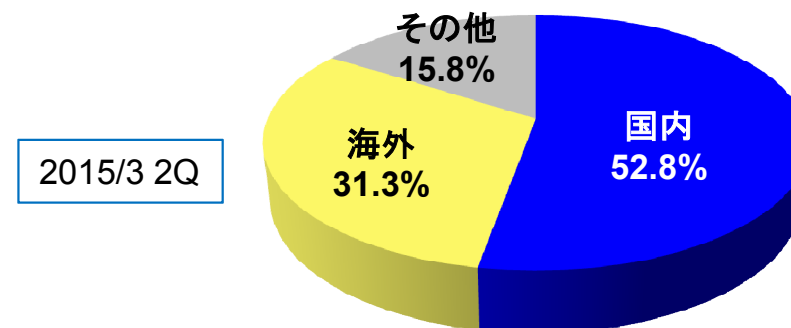
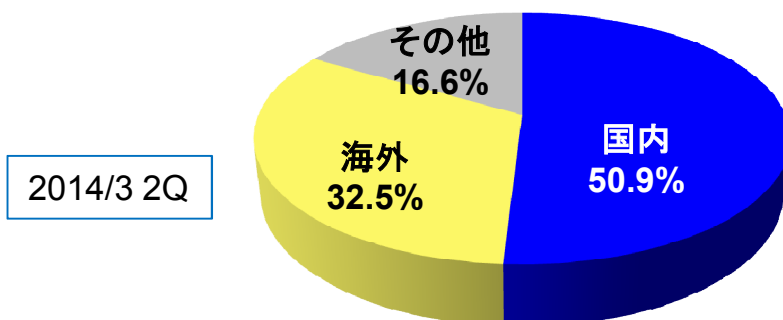
<四半期業績推移>

	2014年3月期				2015年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
建機用フィルタ	2,237	2,675	2,300	2,170	2,487	2,440
ライン品	1,122	1,197	1,106	1,159	1,145	1,073
補給品	1,114	1,478	1,193	1,011	1,342	1,367
その他	287	292	290	276	274	270
合計	2,524	2,968	2,590	2,446	2,761	2,711



中国市場低迷、前期特需の影響により海外向け得意先減少も国内向けは増

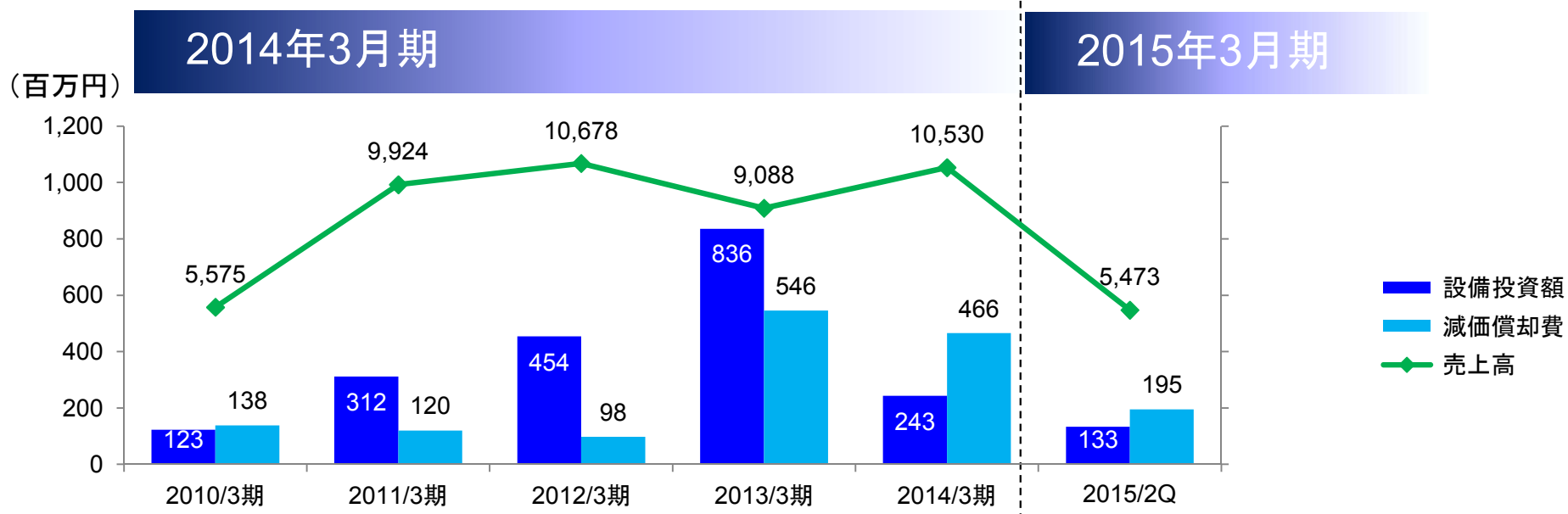
(単位:百万円)	2014/3期 第2四半期		2015/3期 第2四半期		前年同期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
国内メーカー	2,798	50.9%	2,892	52.8%	93	3.4%
ライン	993	18.1%	1,012	18.5%	19	1.9%
補給	1,804	32.9%	1,879	34.3%	74	4.1%
海外メーカー	1,783	32.5%	1,714	31.3%	△ 68	△3.9%
ライン	1,021	18.6%	926	16.9%	△ 94	△9.3%
補給	761	13.9%	787	14.4%	25	3.4%
その他	911	16.6%	866	15.8%	△ 44	△4.9%
売上高合計	5,493	100.0%	5,473	100.0%	△ 19	△0.4%



* (14.3期実績は比較の為、未監査2Q実績であります)

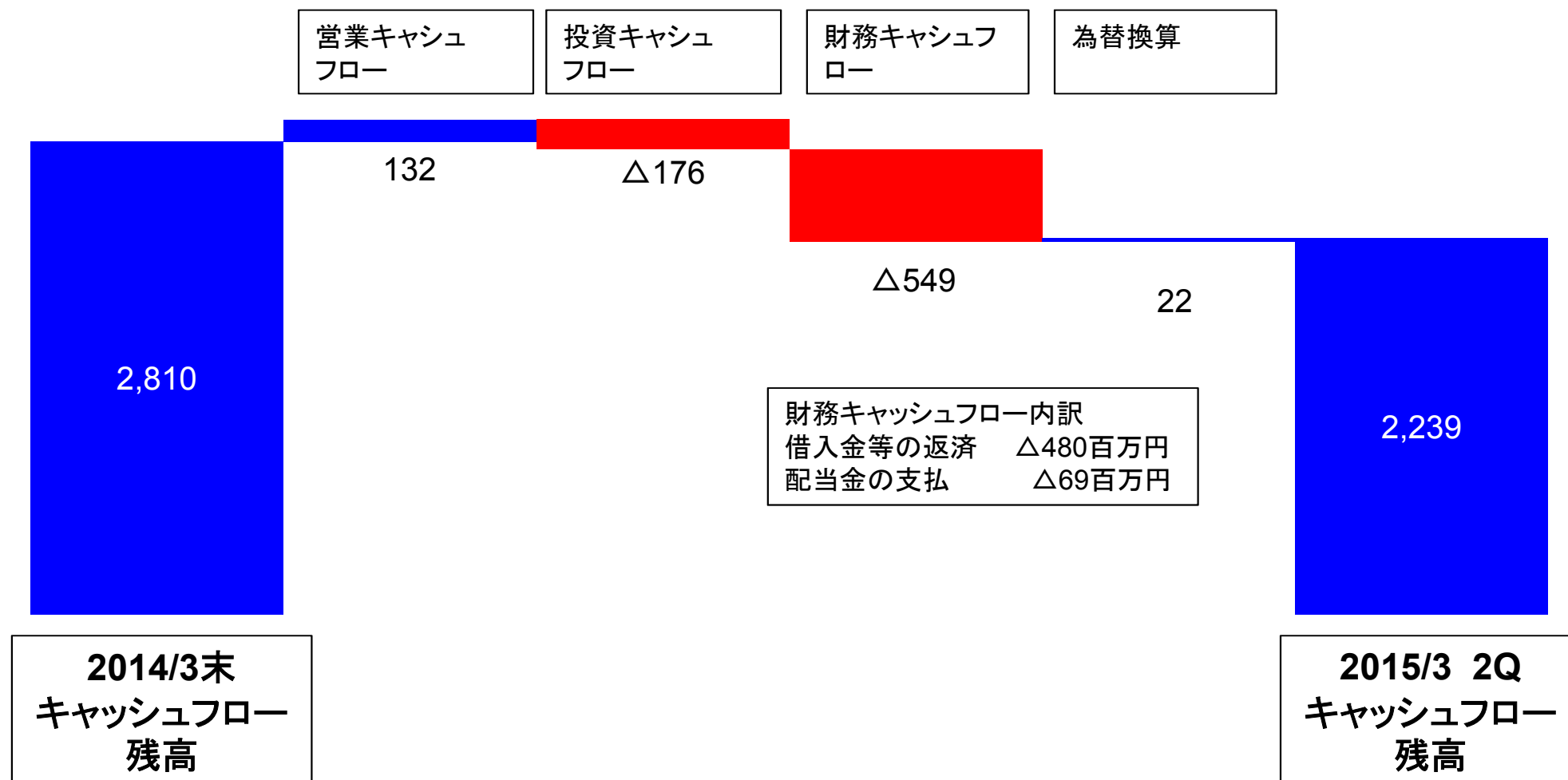
売上高に対し、設備投資額は2%、減価償却額は4%で推移する見込み

(単位:百万円)	2010/3期 単体	2011/3期 単体	2012/3期 単体	2013/3期 連結	2014/3期 連結	2015/2Q 連結
売上高	5,575	9,924	10,678	9,088	10,530	5,473
設備投資額	123	312	454	836	243	133
対売上比	2.2%	3.1%	4.3%	9.2%	2.3%	2.4%
減価償却費	138	120	98	546	466	195
対売上比	2.5%	1.2%	0.9%	6.0%	4.4%	3.6%



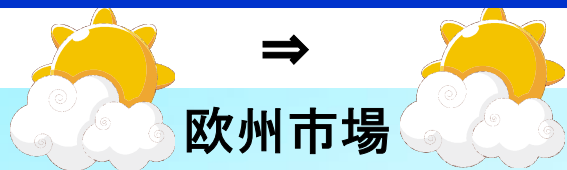
有利子負債圧縮により、現金及び現金同等物の残高が減少

(単位:百万円)



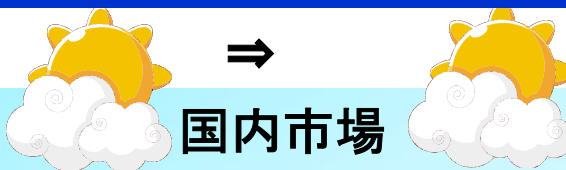
2.下期取り組みと通期業績予想

北米、欧州、国内は堅調を維持、中国、ASEANは停滞



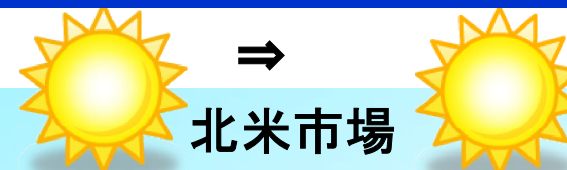
欧州市場

本格的な市場環境回復には至っていないが堅調を維持。



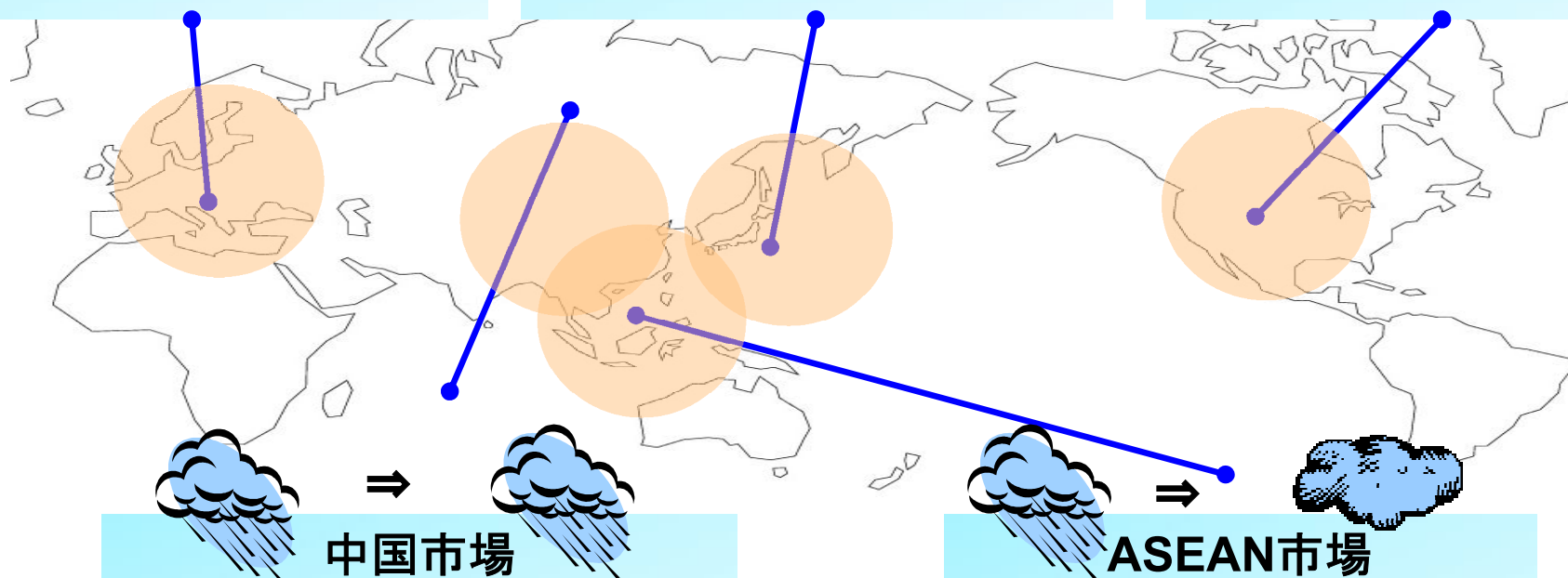
国内市場

Tier4需要により生産台数増加及びシヨベル市場の回復傾向を受け、堅調を維持。



北米市場

失業率の改善、住宅着工件数も回復傾向にあり、市場環境は好調。



中国市場

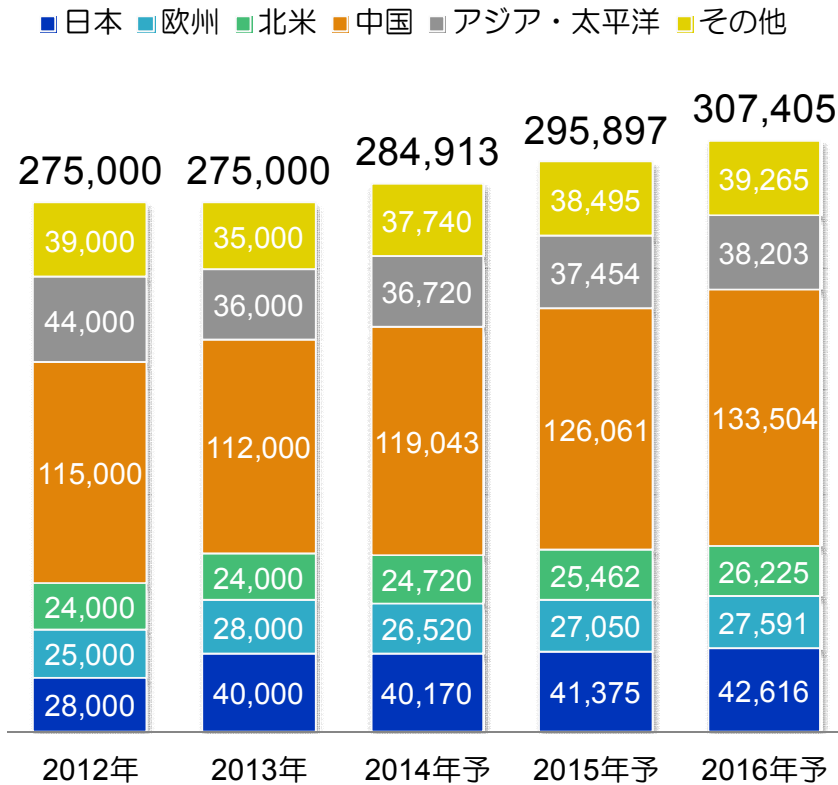
引き続き厳しい市場環境が続き、本格的な回復には至っていない。

ASEAN市場

市場環境は停滞しているが、下期以降は回復基調へ。

事業環境は堅調で、環境規制により要求される性能は高くなる傾向にある

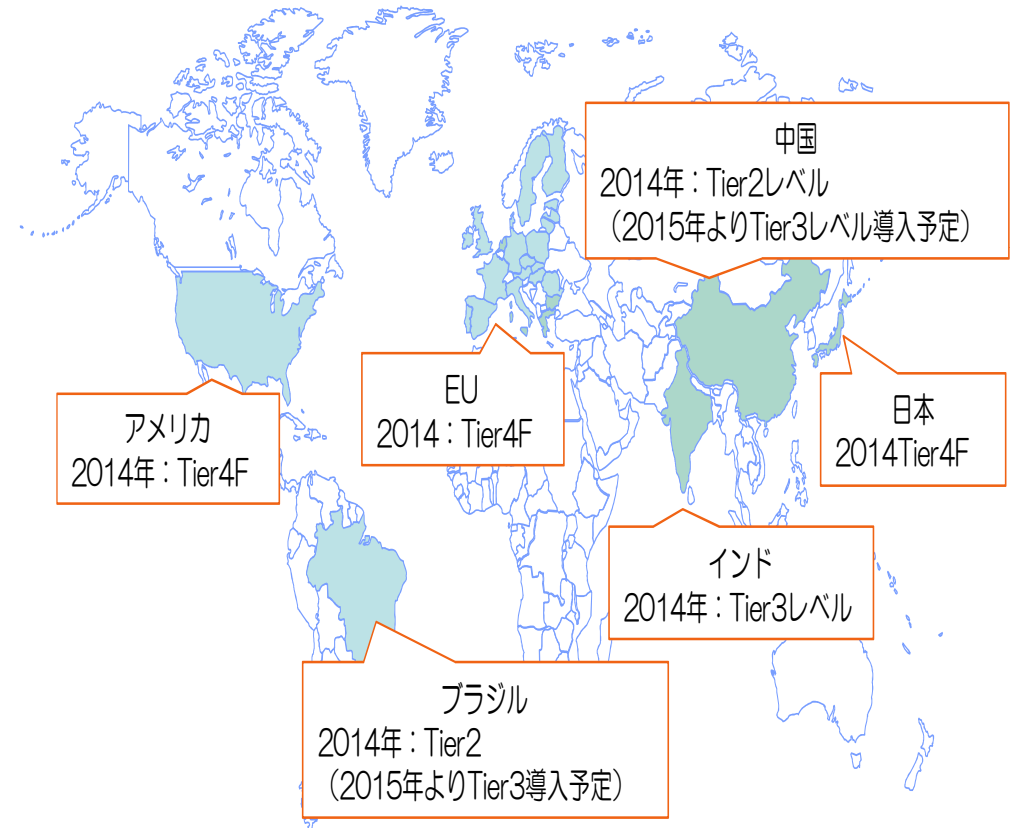
油圧ショベルの新車需要推移(台)



出所) 中国台数は中国工程机械工業会を参照、その他地域は日立建機IRより参照

出所) 各種公表情報から当社推計

地域別 排ガス規制の状況

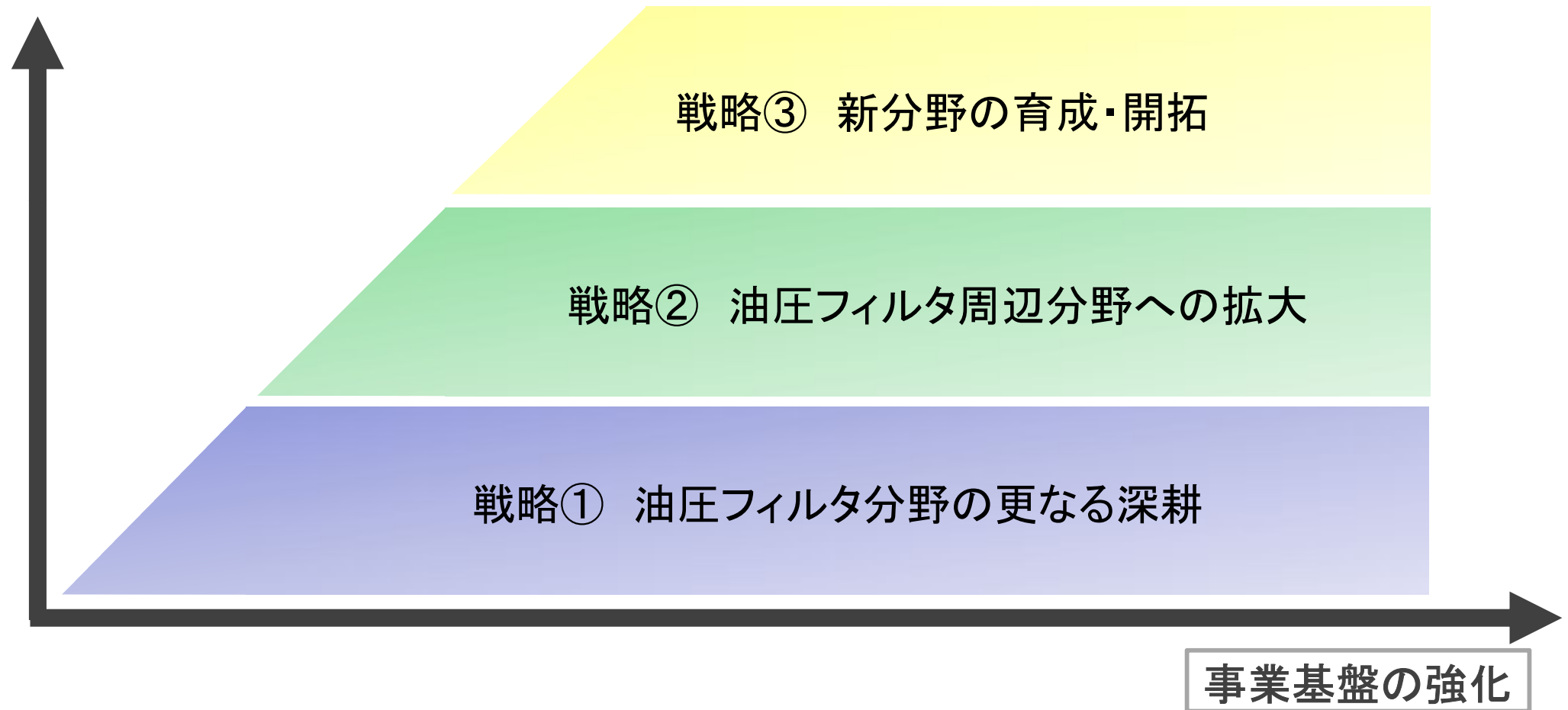


出所) 経産省(産業構造審議会)2013年6月度報告書

排ガス規制: 大気汚染対策として、排出ガスの汚染物質を制限する規制

3つの戦略については継続して実施

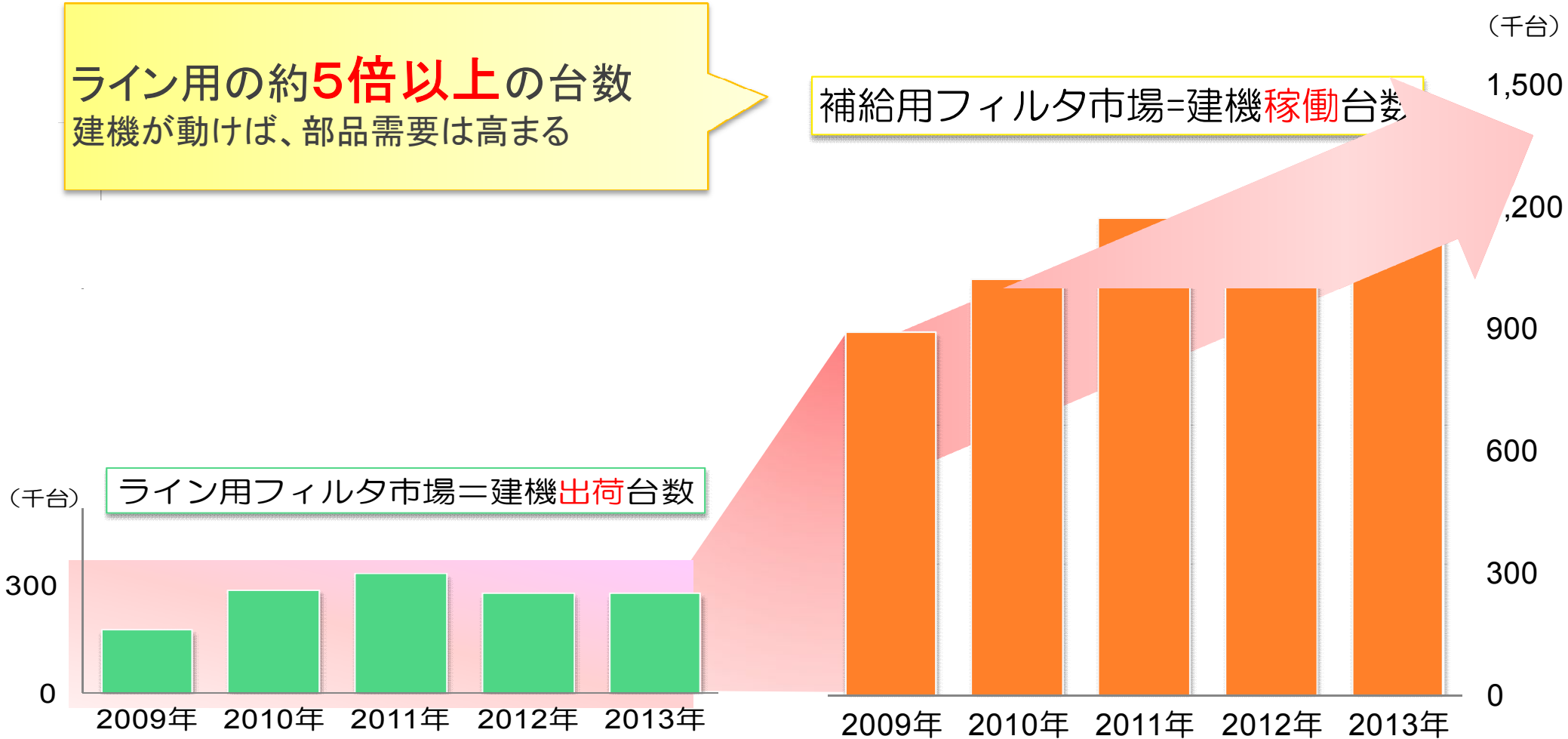
業容の拡大



アフターマーケットでの収益力拡大を図る

ライン用の約**5倍以上**の台数
建機が動けば、部品需要は高まる

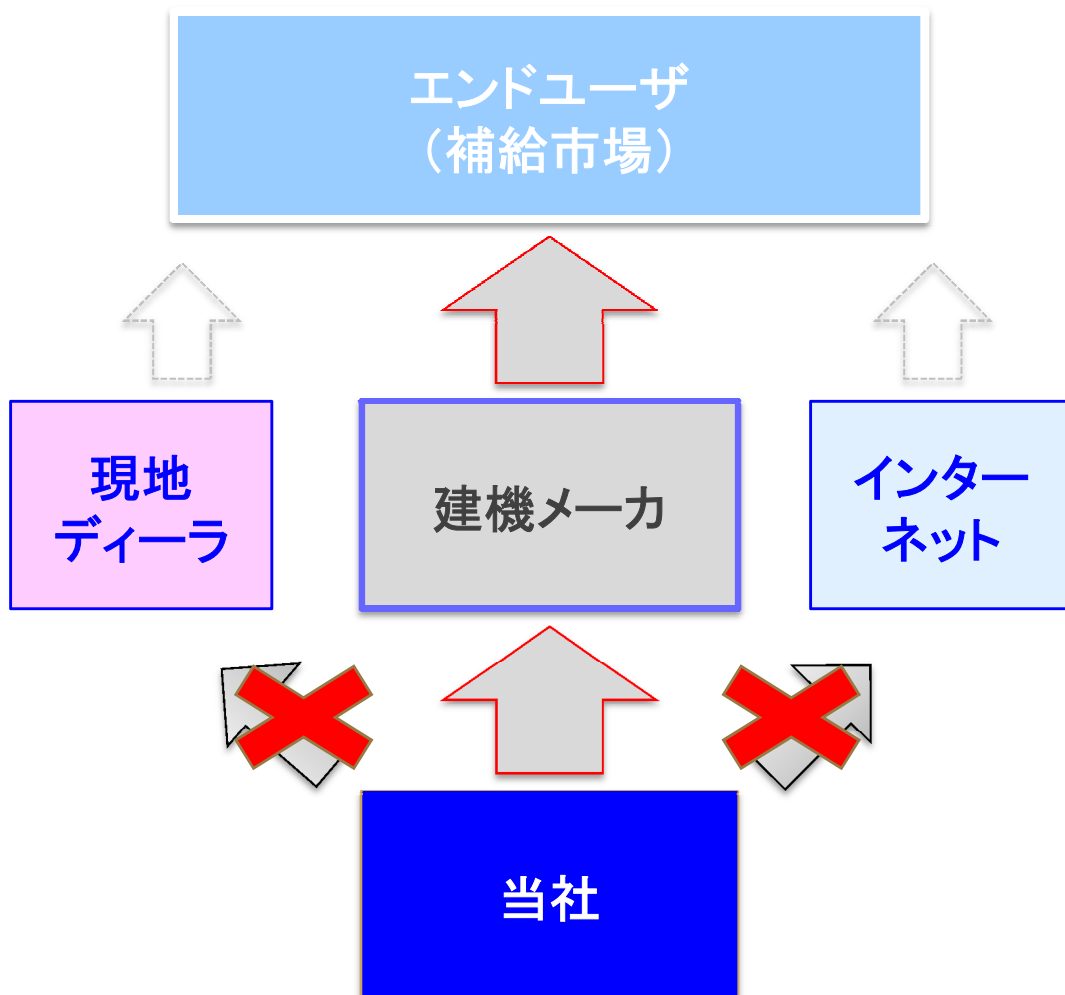
補給用フィルタ市場=建機稼働台数



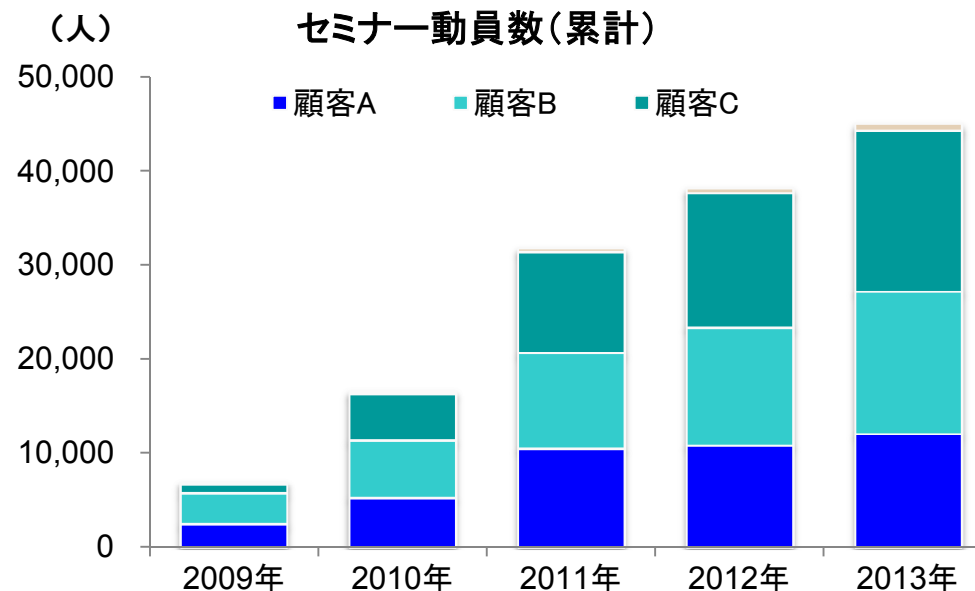
出所)各種公表情報から当社推計

建機メーカーとの強固な信頼を構築し、新興国での純正率向上を図る

建機メーカーと市場で競合しない



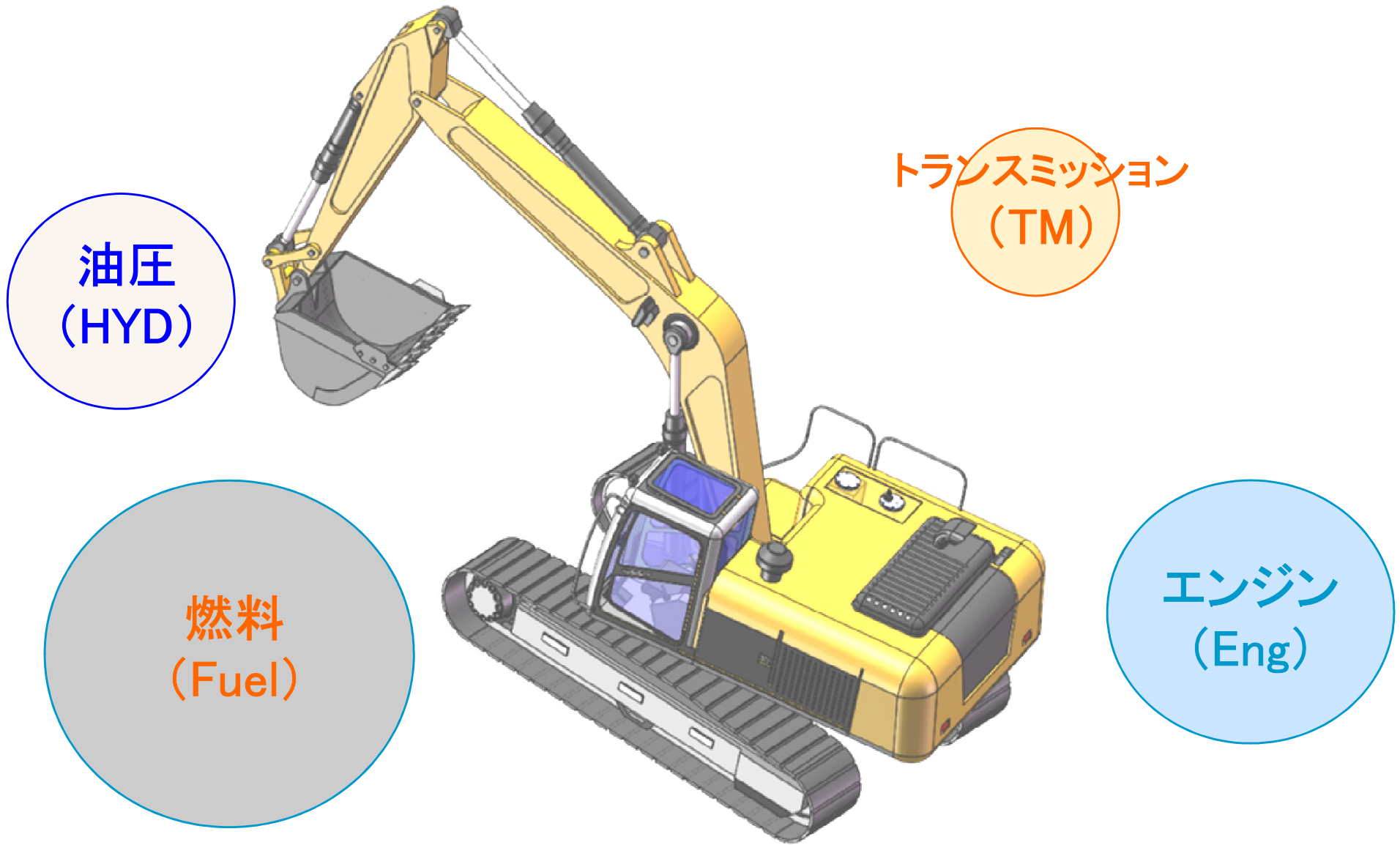
現地での純正フィルタ・セミナー活動



セミナーの様子(中国)

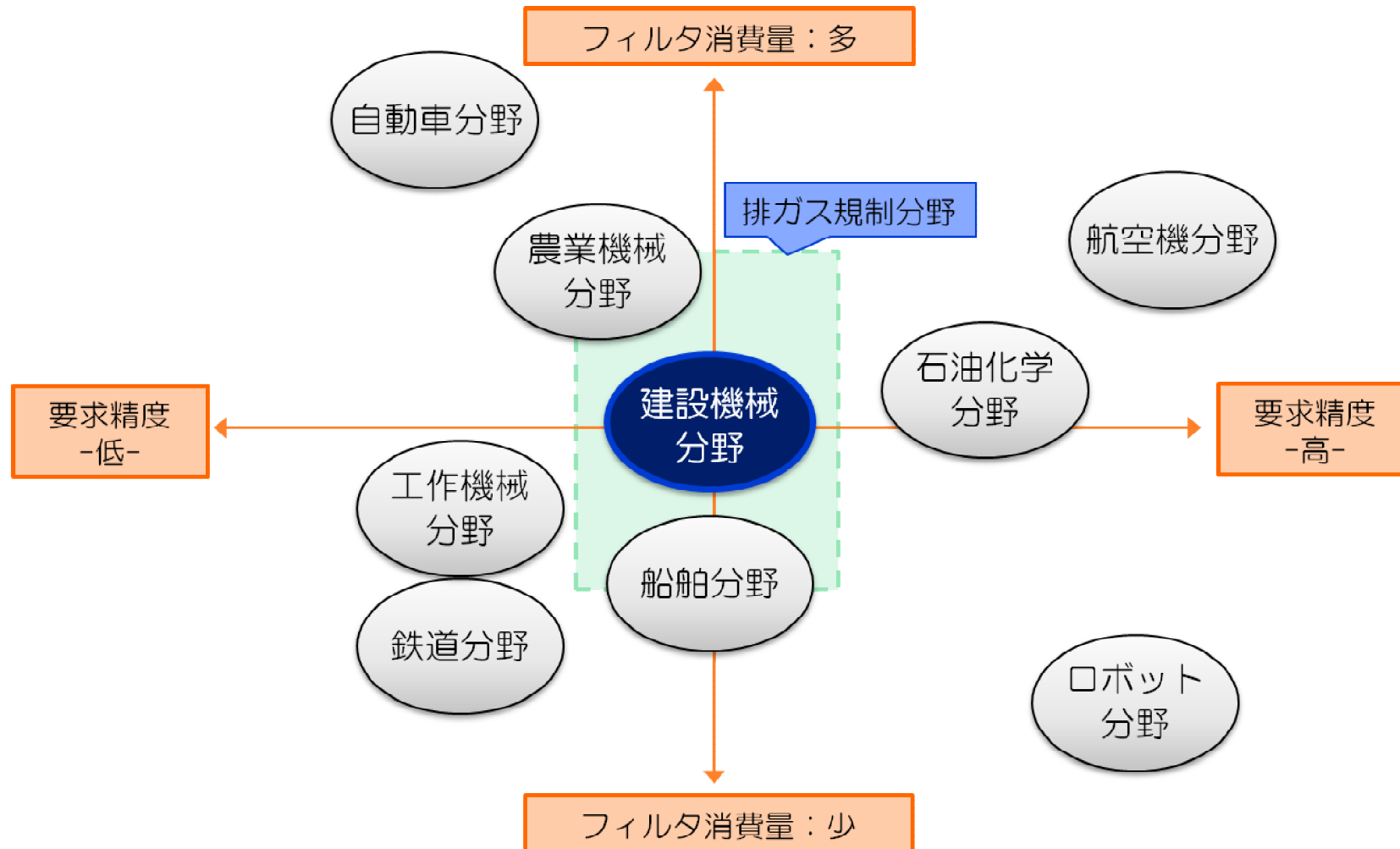
セミナー動員数
累計45,000人
を突破!

中長期的成長戦略：油圧分野から周辺分野へ（下期は燃料用フィルタを展開）



これまでのノウハウを最大限活用し、新分野の育成開拓を目指す

フィルタ・マーケット



外部環境は若干弱含みであるが通期業績予想は変更なし

(単位:百万円)	2014/3期 通期	2015/3期 通期	増減	
			金額	%
売上高	10,530	11,069	539	5.1%
売上総利益	4,440	4,719	279	6.3%
売上総利益率	42.2%	42.6%	0.5P	
販売管理費	3,730	3,902	172	4.6%
販管比率	35.4%	35.3%	△0.2P	
営業利益	710	817	107	15.1%
営業利益率	6.7%	7.4%	0.6P	
経常利益	709	787	78	11.1%
経常利益率	6.7%	7.1%	0.4P	
当期純利益	336	530	194	57.6%
純利益率	3.2%	4.8%	1.6P	

株主還元と内部流方とのバランスを考慮しながら、安定した配当を行う予定

	13.3期 2012年4月1日 ～ 2013年3月31日	14.3期 2013年4月1日 ～ 2014年3月31日	15.3期 2014年4月1日 ～ 2015年3月31日
配当性向	—%* ¹	20.1%	19.7%* ²

* 1 13.3期は赤字決算のため、配当性向を記載しておりません。

* 2 現時点での予定で、定時株主総会の承認を前提としております。

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は市場動向や業績情勢などの様々な要因等によって異なる可能性があります。

この資料に関するお問い合わせは
ヤマシンフィルタ株式会社 経営企画室まで

TEL (045-680-1671)
E-mail : ir@yamashin-filter.co.jp